

平成30年度第1回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 平成30年6月22日（金）
午後1時30分から午後3時30分

場 所 茂原市役所102会議室

出席者 委 員 16名

西條委員、平野委員、大木委員、木嶋委員、古市委員、田中委員、土屋委員、飯塚委員、川俣委員（代理：坂本）、秋山委員、山口委員（代理：重條）、藤井委員、中村委員（代理：内山）、三橋委員、岩瀬委員、大橋委員、
事務局 5名
都市計画課 石崎課長、螺良補佐、大橋係長、紺野、進

会議内容（進行：螺良補佐）

- 1 開会 午後1時30分
要綱第7条第2項に基づき、出席委員16名で過半数に達しており会議成立。
- 2 委員紹介
- 3 会長の選任
要綱第5条第1項に基づき互選。西條委員を会長に選出。
- 4 会長あいさつ
- 5 副会長及び監事の選任
要綱第5条第1項及びに第6条第1項に基づき、会長の指名により大橋委員を副会長に、田中委員及び三橋委員を監事に選出。
- 6 議事
要綱第7条第1項に基づき、会長が議長となる。

(1) デマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の利用状況について

事務局よりデマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の利用状況について説明
<質疑>

委 員：デマンド交通の利用価値が上がっており、女性の高齢者の利用が多い。高齢化が進

むにつれてデマンド交通の運行形態は継続するだろう。

委員：デマンド交通の収支率はどのくらいか。

事務局：平成29年度実績は15.1%である。

(2) 回数券の運賃制度の導入について

事務局より回数券の運賃制度の導入について（販売価格案①、販売価格案②）説明
＜質疑＞

委員：小湊鉄道（株）は民間路線バスの回数券を発行している。市民バスの回数券を民間路線バスでも利用できると市民が誤解をし、乗務員とトラブルを起こす可能性がある。色分けや広報等により市民が回数券を判別できるようにして頂きたい。

事務局：市民バス・デマンドの回数券と民間路線バスの回数券との区別は明らかにする。広報等の周知は徹底する。

委員：市民バス・デマンド交通の回数券は民間路線バスでは使用できないことを記載した方が良い。

市原市では、往復利用促進の取り組みで往復利用率が上がった。

回数券を導入した次のプロセスは、市民がどのような利用をしているのか分析し、それを反映して収支率の増加に繋げていただきたい。

委員：市民バス・デマンドの共通回数券の導入（販売価格案②）は（制度上）可能か。

委員：各事業者が収受する金額が明確であれば（制度上）可能である。

事務局：君津市は共通回数券を発行・運用している。

採決の結果、販売価格案②を賛成多数により承認。

(3) デマンド交通乗降場所の追加について

事務局よりデマンド交通乗降場所の追加について説明

採決の結果、賛成多数により承認。

(4) 生活交通確保維持改善計画（案）について

事務局より生活交通確保維持改善計画（案）について説明

＜質疑＞

委員：運行見直しの際、デマンド交通の1日8便すべてが稼働している訳ではないので、利用実態を分析して頂きたい。利用者の増減で一喜一憂せず、利用者の分析や収益を上げる方向性を検討していただきたい。

事務局：今後も検討させていただく。

委員：見やすい資料の作成をお願いしたい。また、事前に関係者との情報交換をお願いしたい。

採決の結果、賛成多数により承認。

- 7 前回の会議概要について訂正等があれば7月6日（金）までの連絡を依頼。
また、次回の会議開催時期について、次年度の12月中旬頃を予定していることを連絡。
- 8 閉会 午後3時30分